

8割が消えてしまった 東京の本屋が一斉発起！ YouTube チャンネル開設

2022年2月
東京都書店商業組合

東京都書店商業組合（理事長・矢幡 秀治）は加盟書店を紹介する動画を企画・制作し、YouTube チャンネルを開設しました。普段は無口な街の本屋の生の声を発信します。

そのほか、このほど「塞王の楯」（集英社）で直木賞を受賞した歴史小説家・今村翔吾さんのインタビューや、モデルのトラウデン直美さんが語る「本屋の魅力」など、新作動画も続々配信していきます。



【YouTube チャンネル名】

「東京の本屋さん～街に本屋があるということ～」

チャンネル開設日：2021年10月27日

チャンネルの企画・運営：東京都書店商業組合

<https://www.youtube.com/c/tokyo-shoten>



ご視聴はコチラから！

「地元の商店街から本屋が消えた」――

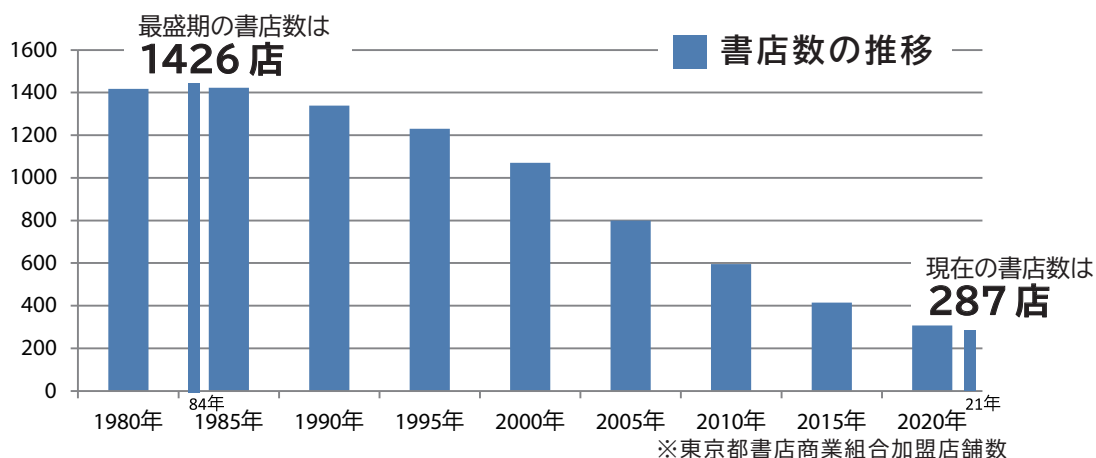
出版不況のキーワードとともに、書店の衰退が、新聞・テレビ等で報道されています。その状況を打破すべく「アナログの象徴」である中小書店店主たちが、一斉発起。書店の魅力をアピールするため、YouTube チャンネルを開設しました。いつも利用している本屋の独自のサービスや知られざる歴史を始め、街の本屋をあまり利用しない人に向けても新たな魅力を発信します。

■ 8割も消えてしまった東京の本屋さん

今から25年ほど前までは、東京に限らず全国の至る所に「街の本屋」がありました。インターネット通信網のない時代、本屋にある雑誌や書籍は重要な情報源。日々の買い物や通勤通学で気軽に立ち寄れる本屋が生活の一部に溶け込んでいましたが、「書店の大型化」や「EC販売」へ移行したことで、買い物弱者にとって本が遠い存在になりつつあります。

■東京都書店商業組合について

東京都にある中小書店（街の本屋）を中心に組織しています。2022年1月時点の組合店舗数は287店。1984年の1426店のピークから8割減少しました（※下図参照）。ネット通販など書店以外の販売ルートが増えるとともに、個人のインターネット利用時間の増加による活字離れも進み、街の本屋は閉店を余儀なくされています。



■公開済み動画抜粋（2022年1月10日時点）

紹介書店	
【港区南麻布・小川書店】	本屋の愉しみを子どもたちに。教科書と参考書にこだわる本屋（2021/10/27 公開）
【渋谷区宇田川町・大盛堂書店】	日本の書店の先駆者 激動の100年を見つめて（2021/11/19 公開）
【杉並区西荻南・信愛書店 en=gawa】	「本」で人をつなぎ、「本」を愛する本屋さん（2021/11/9 公開）
【大田区北嶺町・藤乃屋書店】	みんなの読みたいにこたえる本屋 あらゆるジャンルをバランスよく揃えて（2021/11/15 公開）
【品川区西五反田・中野屋書店】	子どもの「本」の世界の入り口に、読み聞かせに参加できる本屋さん（2021/11/16 公開）
【港区北青山・山陽堂書店】	表参道の真ん中に130年続く本屋 谷内六郎氏の壁画は表参道のシンボル（2022/01/5 公開）
【千代田区神田神保町・内山書店】	中国・アジアの架け橋に、想いをつなげる本屋（2022/1/8 公開）
【府中市三好町・府中書房】	体験して学習できる 子どもで賑わう本屋さん（2021/12/6 公開）
【大田区多摩川・たま書店】	「感動の一冊」との出会いを届ける本屋さん（2021/12/8 公開）
【北区豊島・BE BOOKS】	本に雑貨に文房具、おもちゃ箱みたいな本屋さん（2021/12/15 公開）
【昭島市中神町・Book&Café Mulberryfield】	豊かな心を育てたい 上質な「知」を紡ぐ本屋（2021/12/16 公開）
【江戸川区春江町・椿書房】	力作POPが棚に舞う、地域密着の本屋さん（2021/12/17 公開）
【港区虎ノ門・虎ノ門書房本店】	生き馬の目を抜く、ビジネス街の本屋さん（2021/12/19 公開）

※本事業は東京都中小企業団体中央会より委託を受け、東京都書店商業組合が中小企業新戦略支援事業（団体向け）に係る特別支援『新しい日常対応型業界活性化プロジェクト』を活用して運営しています。

【本件に関するお問合せ先】

東京都書店商業組合 事務局 柴崎王陽

〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台1-2 書店会館1F
 TEL：03-3291-0853 / FAX：03-3294-7230
 E-MAIL：kumiai@tokyo-shoten.or.jp



東京都書店商業組合URL <http://tokyo-shoten.or.jp/>